

## 『広重描く雪月花』



歌川広重  
「東都名所 吉原仲之町夜桜」

大判錦絵揃物の内  
天保3～10年(1832～39)ころ  
当館蔵 田中コレクション)

3月9日から中山道広重美術館は、企画展「広重描く雪月花」を開催します。

四季のある日本では、古来、四季折々の景物とその美しさを愛でてきました。和歌に詠み、また絵画や工芸品などにも描いてきました。さらには料理や衣服の柄にも用いられてきました。「雪月花」は、そうした日本の自然の美しさを象徴する景物です。そして「雪月花」という言葉自体、中世末期には既に定着していたらしいことが、『日葡辞書』(安土桃山時代、ポルトガルの宣教師が編さんした辞書)に見える「Xet guet qua」(雪月花)の記述から明らかです。

冬の清らかな静けさを表現する雪、皓々とした清らかさを表現する月、そして誰の胸にも感興を催させる花。日本の美術作品の中で、この「雪月花」モチーフを探すならば、枚挙に暇がないほどです。

本展では、館蔵の歌川広重作品から、「雪月花」それぞれをテーマとした作品を展示します。「木曾海道六拾九次之内 大井」には、すべてを覆い隠し、白一色の静かな世界にしてしまう雪、旅をする人々をあるいは苦しめたであろう雪が描かれます。また「京都名所之内 淀川」では、淀川を行く三十石舟を満月が明るく照らし出します。さらに「東都名所 吉原仲之町夜桜」には、開花の季節のみ植樹される期間限定の桜が描かれます。満開の時のみを吉原で過ごす桜樹。複雑な思いが去来します。

旧暦3月は花見の季節です。本展では、「雪月花」の内、「花」に多少重点を置いて、来るべき春を待ちたいと思っています。

3月9日(木)～4月9日(日)

毎週月曜日、祝日の翌日休館

会期終了後、4月10日(月)～12日(水)まで展示替え休館します。

小中高生は、この展覧会期間中、無料で入館できます。

### 同時開催「広重賞第2回こども版画コンクール入賞作品展」

□とき 3月9日(木)～4月2日(日) □ところ 展示室2 □入場料 無料

次号は3月15日号  
発行日は3月15日(木)です

広報えな No.31

2006年(平成18年)3月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 秘書広報課  
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

### 編集後記

岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場の冬季営業が2月19日をもって終了しました。当初の予定の2倍に迫る5万5千人を超える利用がありました。マインシューズを片手に子どもの手を引き訪れる親子連れ、慣れない足取りで何度も転びながら上達していく子どもたち、年齢性別に関係なく多くの人がスケートを身近なものに感じられたと思います。一方、全国レベルの大会も開催され、今回インタビュをした岩村高校の田口さんをはじめ、多くの選手の活躍もみられました。今後、スケート設備を撤去し、4月中旬から夏期営業が始まります。インラインスケートやフットサルなどの利用者が増えるよう、紙面でも紹介していきたいです。